

〈令和3年度 JAMSTEC賛助会〉

「技術交流会」



研究プラットフォーム運用開発部門の最新動向をお知らせいたします

令和3年 **12月7日(火)** **14:00~15:15**

報告
1

セラミックス耐圧容器の実用化に向けて

技術開発部 海洋ロボティクス開発実装グループ 技術主任 **前田 洋作**

【概要】セラミックが持つ高い圧縮強度、高剛性、高耐食性に着目し、セラミックを用いた軽量・高強度耐圧容器の開発を進めています。これまでに、海底地震計などに用いられて球型および、一般的な形状である円筒型のセラミック耐圧容器を開発・実用化し、超深海用途の観測機器において実績を積み重ねてきました。特に円筒型は、その高い剛性による座屈圧力の高さから、他材料製と比較して大きな軽量化の効果が得られます。一例として電池用の大型円筒セラミック耐圧容器を挙げながら、セラミックを用いた耐圧容器開発の取り組みについてご紹介します。

報告
2

水温・塩分センサのトレーサブルな検定技術の紹介と外部提供について

技術開発部 観測技術研究開発グループ グループリーダー代理 **馬場 尚一郎**

【概要】地球環境観測において、その海水温度の観測精度は重要です。これらの精度を担保するために、定期的に海水温センサと基準センサを恒温槽に設置し比較校正を行うこと。特に大型のセンサについては、これまでそれらを設置することができる大きさの恒温槽がなく、校正を実施することは困難でした。そこで300L級の高精度恒温槽を開発し、大型CTDセンサ(SBE19)の校正を実施しました。これらの試験状況について紹介します。

報告
3

AUVソフトウェアのオープン化に向けた取り組み

技術開発部 海洋ロボティクス開発実装グループ 主任研究員 **澤 隆雄**

【概要】AUV開発と運用を効率化するため、MILSおよびHILS機能を有するAUVシミュレータを整備して開発初期段階における効率向上を目指すとともに、海域実験を含めた運用段階におけるさらなる開発・運用効率向上のため、AUVを運用する関係省庁・大学・企業とコミュニティを形成し、このAUVコミュニティで共有できるAUVソフトウェアのオープン化を進めています。この試みについての現状及び期待している将来像について報告します。



〈令和3年度 JAMSTEC賛助会〉

「技術交流会」

開催日時 令和3年12月7日(火) 14:00~15:15

実施方法 オンライン(Zoom利用)

14:00~14:05

開会挨拶

理事(開発運用担当) 倉本 真一

14:05~14:25

「研究プラットフォーム運用開発のニューノーマル」

研究プラットフォーム運用開発部門 部門長 川口 勝義

14:25~15:10

研究プラットフォーム運用開発部門からの報告

【報告1】セラミックス耐圧容器の実用化に向けて

技術開発部 海洋ロボティクス開発実装グループ 技術主任 前田 洋作

【報告2】水温・塩分センサのトレーサブルな検定技術の紹介と外部提供について

技術開発部 観測技術研究開発グループ グループリーダー代理 馬場 尚一郎

【報告3】AUVソフトウェアのオープン化に向けた取り組み

技術開発部 海洋ロボティクス開発実装グループ 主任研究員 澤 隆雄

15:10~15:15

閉会の挨拶

海洋科学技術戦略部 部長 豊福 高志

申込方法 URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/98aiW1dcAwVfvzNH6>

申込期限

令和3年12月2日(木)



参加時のお願い

- Zoomに接続できない場合は、ご利用のPC/タブレット/スマートフォンの再起動を試していただくようお願いいたします。
- 音声が聞こえない場合は、マナーモードやミュートになっていないかご確認ください。イヤホンやヘッドセットご利用の場合は、お持ちのヘッドセット等がZoomの音声出力に接続されているかご確認くださいようお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

今回お預かりしました個人情報は、国立研究開発法人海洋研究開発機構個人情報保護管理規程に基づいて、安全かつ適切に取扱い、お申込みに対する確認や登録者ご本人からのお問い合わせに対する回答のためのみに利用させていただきます。国立研究開発法人海洋研究開発機構の個人情報保護制度 <http://www.jamstec.go.jp/j/about/disclosure/kojin/>

【お問合せ・ご連絡先】

国立研究開発法人海洋研究開発機構

東京事務所 賛助会事務局

電話:03-5157-3900 FAX:03-5157-3903

e-mail:sanjokai@jamstec.go.jp



JAMSTEC 国立研究開発法人
海洋研究開発機構
Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology